

仙台高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	情報システム概論	
科目基礎情報							
科目番号	0080		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	情報システム工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員		安藤 敏彦,岡本 圭史,菅野 浩徳,熊谷 和志,小林 秀幸,竹茂 求,竹島 久志,武田 正則,早川 吉弘,力武 克彰,高橋 晶子,白根 崇,菅谷 純一					
到達目標							
与えられた課題に関して，課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		情報システム全体の概要と位置づけをまず理解し，次に，個別技術について，その背景，基礎，技術動向，技術者・研究者になる上での心構えを学ぶ。 情報システム工学科における教育・研究について理解し，将来，情報システム関連の技術者・研究者になる上での素養を身につける。					
授業の進め方・方法		毎回，講義する講師が替わり，各講師から様々な分野での研究課題について説明を受け，示された課題に取り組む。 情報システム工学科の教員および外部講師（OB等）が講師にあたる。					
注意点		第4学年の「情報システム実験Ⅰ」や第5学年の「情報システム実験Ⅱ」，「卒業研究」などの科目とも関連する。課題遂行にあたっては，自主性，自律性が強く求められる。 この科目は，時間割上の授業時間以外に週4時間以上の自学自習が求められていることに注意すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の概要について理解する		
		2週	(岡本) ソフトウェア高信頼化について		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		3週	(安藤) ナチュラル・ユーザ・インタフェースの現状と課題		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		4週	(菅野) 情報システムの運用管理		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		5週	(熊谷) バイオメカニクスおよび福祉機器の現状と課題		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		6週	(小林) What is wireless communication ?		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		7週	(白根)		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		8週	(菅谷) 現代制御あれこれ		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
	2ndQ	9週	(高橋(晶)) デジタルデバインドの現状と課題 -情報倫理教育を含めた解決へのアプローチ-		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		10週	(竹茂) 大学や高専の研究と企業における製品開発研究		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		11週	(竹島)情報のアクセシビリティについて		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		12週	(武田)		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		13週	(早川) 脳に学ぶ計算機から情報処理を考えてみる		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		14週	(力武) アジャイルな見積もりと計画づくり,そしてものづくりへ		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		15週	(外部講師)題目未定		課題の内容を理解し，自律的に基本的な知識や従来研究成果を理解・調査した上で，論理的にまとまったレポートを書くことができる。		
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	専門的能力 の実質化	PBL教育	PBL教育	工学が関わっている数々の事象について、自らの専門知識を駆使して、情報を収集することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				集められた情報をもとに、状況を適確に分析することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				与えられた目標を達成するための解決方法を考えることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
				状況分析の結果、問題（課題）を明確化することができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0